

水回り計画

01 衛生器具数の算出に用いる来庁者および職員等の人数設定について

- ・来庁者は、共用部面積に係数をかけて求めることが一般的です。係数は、衛生器具メーカーが公開している数値(0.1人/㎡)を用います。
なお男女比は、5：5として設定します。
- ・職員等の男女比は5：5として設定します。

02 衛生器具数の算出について

- ・算出に当たっては空気調和・衛生工学会（以下「空・衛工学会」とする）による方法が一般的で、算出結果は下表の通りです。
- ・来庁者・職員等共に「事務所用途」で算出します。

■衛生器具数の算定結果のまとめ

階数	共用部 面積 (㎡)	各階人数(人)				空・衛工学会 レベル1					空・衛工学会 レベル2				
		来庁者	職員等	男性	女性	男性			女性		男性			女性	
						大	小	洗	大	洗	大	小	洗	大	洗
4	500	50	40	45	45	2	2	2	3	3	2	2	2	3	3
3	300	30	121	76	75	3	3	3	4	3	3	3	2	4	3
2	800	80	256	168	168	4	4	3	6	5	4	3	3	5	4
1	1300	130	250	190	190	4	4	4	6	5	4	4	3	5	4

※上記計画器具数の他、バリアフリースイレを1・2階に2か所ずつ、3・4階に1か所ずつ設置する

03 衛生器具数の設定について

- ・トイレ設置数の検討に当たり、「事務所衛生基準規則及び労働安全衛生規則」による設置数もありますが、設置器具数が上回る「空・衛工学会」の内容を基に検討します。
- ・各階ごとの衛生器具数で、原則的にはレベル1のサービスレベルを目指しますが、全体的な平面計画の調整を図りながら最終的な衛生器具数を定めていきます。

■衛生器具のイメージ



【大便器のイメージ】



【小便器のイメージ】



【手洗い器のイメージ】

令和7年4月28日
総務文教常任委員会資料 2/10

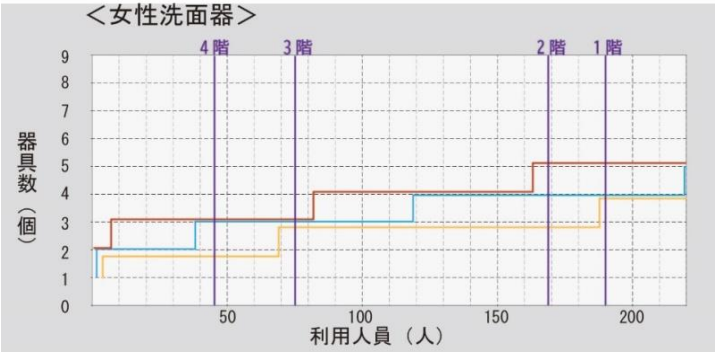
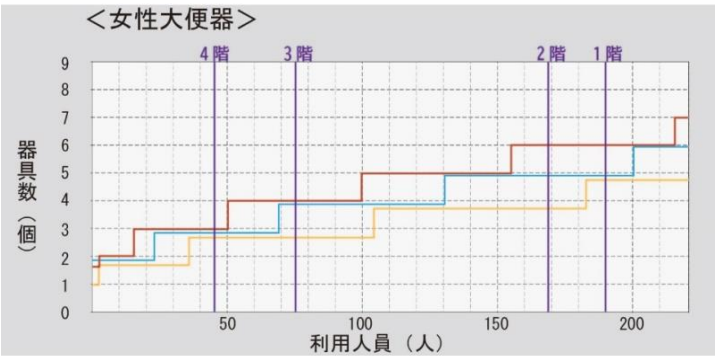
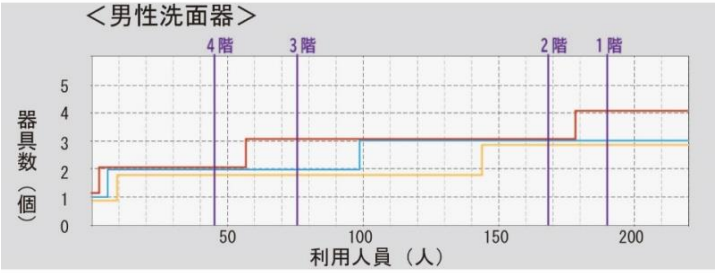
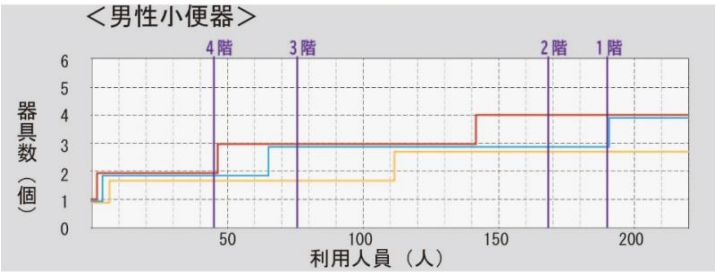
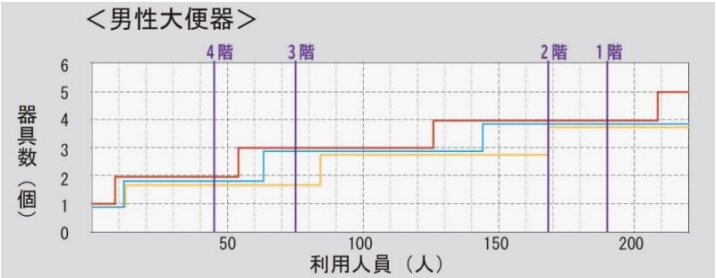


図1. 空・衛工学会 衛生器具適正個数算定表 ＜事務所用途＞

＜補足事項＞

- レベル1：待つことが少ない良好なサービスレベル
- レベル2：標準的なサービスレベル
- レベル3：最低限のサービスレベル

＜凡例＞

—：各階利用人員（来庁者＋職員）